

知的好奇心を持ち続けよう！



文学部長
都筑 学

Manabu TSUZUKI

みなさん、入学おめでとうございます。今日は、私たちが生きて行く上で重要な知的好奇心についてお話したいと思います。

「サルは人間よりも髪の毛が3本少ない」などと言われます。遺伝子的には、人間とチンパンジーは99%一致しているそうです。チンパンジーが人間に近く、賢い動物であることは間違いありません。

ゲシュタルト心理学者のケーラーは、そのチンパンジーを使った実験をおこないました(『類人猿の智慧試験』岩波書店 1962年)。チンパンジーが手の届かない高い天井にバナナをつり下げます。その部屋には、机やイスが置いてあります。チンパンジーはしばらく考えて、机やイスを順々に積み重ねていきます。そして、それをよじ登っていき、バナナを取って食べてしまうのです。ケーラーは、そうした行為の背後にあるものを洞察(insight)と呼びました。チンパンジーは、机・イスと天井からつり下がったバナナの間を関係理解したわけです。

では、チンパンジーに知恵の輪のようなパズルを与えたらどうなるでしょうか。パズルを解いても、何の報酬も得られません。それでも、チンパンジーはパズルを解き続けます。チンパンジーは知的好奇心を持ち続けるのです。

みなさんは、大学生活のスタート時点に立っています。大学生活には、みなさんの知的好奇心を刺激することが多く待ち構えています。専門の勉強や教養を深める勉強、語学や体育。これ以外にも、サークルや部活、ボランティア、アルバイトなど、さまざまな活動があります。そうした活動を通じて多くのことを学んで行くでしょう。それに加えて、同級生や先輩・後輩との関係、先生との関係など、さまざまな人間関係から学ぶことも少なくないでしょう。

大学生活の中でのこのような多様な経験は、あなたの成長にとっての貴重な機会です。正解がすぐには見えないことや難しそうに見えることもあるでしょう。そんなときこそ、知的好奇心を大いに発揮して、積極的に取り組んで行ってもらいたいと思います。その結果、多くのことを吸収することができるはずです。

「インプットなくして、アウトプットなし」。どんなことでも一生懸命に取り組めば、多くのことを身につけることができます。そうやって身につけたものを自分の引き出しに整理していくのです。必要に応じて、それをアウトプットしていく。それが大事です。大学生活の中で知的好奇心を持ち続け、こうした好循環を是非とも実現してもらいたいと思います。



総合政策学部長
松野 良一

Ryoichi MATSUNO

今、そこにある問題を解決するー総合政策って何？

総合政策学部の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんはこれから、いろんな人に、「総合政策って何するところ？」と何十回も聞かれることになるでしょう。私は100回以上、聞かれました。

簡単に説明すると、こうです。いろんな分野の学問を、幅広く学びます。「教養」を身につけてください。「語学」は、英語を入れて10語種あります。アジアの言語が充実しています。しかし、外国語大学ではありません。

教養を身に付け、語学力を鍛え、それで何をやるのでしょうか？

総合政策学部とは、国内外における社会問題の解決や社会現象の解明を目指し、グループワークで知恵とアイデアを出し合い、現地調査やインタビューなどを踏まえ、最終的に解決のための政策提言を行うというトレーニングをする学部です。

これまでの大学が、象牙の塔に閉じこもり、実際の社会問題の解決に貢献してこなかったのではないかと、という反省から生まれた学部ともいわれています。

先輩たちが取り組んだ事例を紹介します。

まず、国際系です。①カンボジアの孤児院の孤児は雇われた子どもだった②フィリピンのゴミ問題と新しいソーシャルビジネス③タイのヒット映画「メナムの残照」に描かれた日本人兵士の真相④バリ島残留日本兵⑤台湾二二八事件と中央大学卒業生⑥北方領土問題に関するフィールド調査などです。

政策系では、①3.11以後のエネルギー政策はどうあるべきか②医薬品のネット販売は全面解禁すべきか③非正規雇用から正規雇用への政策④地下街の老朽化と地下街の存在意義⑤忘れられる権利ーネット社会の法制度⑥「おバカ投稿」の因子分析的研究などです。

このように、大前提として社会問題や現象、謎などがあり、その解決や解明のために、グループでアイデアを出し合い、学生たちが自主的に取り組むのが本学部の特色です。

このため、総合政策学部では、「現場」を重視します。学問分野を幅広く学び、フィールドに行き関係者から話を聞き、調査を行って、問題解決や解明を図ります。そういうトレーニングを繰り返すことによって、皆さんの総合的な能力を開発し、自信につなげていくことを目標にしています。

さあ、みなさん。教養と語学力を持って、「今、そこにある問題」に取り組んでみましょう！